

飛田徳洲 とくたう しのぶ 野球評論家。明治十九年十一月一日茨城縣生れ、昭和四十年一月二十六日歿（八八一一九五）。本名忠順 たけつぐ。大正二年早稲田大學法學部卒。『報知新聞』、『讀賣新聞』の記者等を経、八年早稲田野球部監督、十五年朝日新聞社嘱託。高校野球の育への親と稱はれ、六大學野球の影響力を有する學生野球界の元老的存在。昭和二十五年野球殿堂入り。

著書『最新野球規則詳解―附スコア記入法』（大正十四年四月十五日忠文堂書店）、『コビー入ボール・攻撃篇』（昭和二年十月四日實業之日本社）、『野球人國記』（昭和六年六月二十日誠文堂）、『野球・人漫筆』（昭和六年八月五日人文書房）、『野球二十年』（昭和九年四月二十一日中央公論社）、『球道半世紀』（昭和二十六年八月十八日博友社）、『東世の漫話』（合著・京都新聞編集局編、昭和二十一年十一月二十日河出書房「河出新書」）等。

